

授業科目 生活支援論

【担当教員名】 山手 茂	対象学年	3	対象学科	理学・作業・言語・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

<概要>

慢性・難治性疾患患者および心身障害者とその家族が、疾病・障害によって破綻した生活を、主体的に生活設計をたて直して生活を再構築するよう支援するための保健・医療・福祉専門職の課題を研究する。

<学習目標>

- 慢性・難治性疾患患者および心身障害者とその家族の生活構造・生活問題・生活課題について理解する。
- 「生活の質」とその維持・向上のための諸条件と保健・医療・福祉専門職の援助課題について考える。
- 患者・障害者とその家族の自立・セルフケア、ケアマネジメント、セルフヘルプグループ、サポートネットワークの関連について考える。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	慢性・難治性疾患患者、心身障害者およびその家族の生活構造・生活問題・生活課題について理解する。		講義受講 (受講者が少なければ討論も行う) 読書・事例調査など自主学習 (患者・障害者とその家族の生活記録、セルフヘルプグループ活動、ケアマネジメント事例)
2	生活再設計・生活再構築とその支援に関する事例を検討する。事例検討を通じて、セルフケア、ケアマネジメント、セルフヘルプグループ、サポートネットワークの関連を理解する。		
3	(3回を予定)		
4	ケアマネジメント事例をとりあげ、その課題と方法、および保健・医療・福祉専門職のチームワークの課題と方法を検討する。(3回を予定)		
5			
6			
7			
8	セルフヘルプグループ活動の事例をとりあげ、保健・医療・福祉専門職の支援の課題と方法について検討する。(3回を予定)		
9			
10			
11	サポートネットワーク形成の事例をとりあげ、地域社会の保健・医療・福祉専門職とボランティア・隣人・友人・親族などとの連携の課題と方法について検討する。(3回を予定)		
12			
13			
14	まとめ		
15	"		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	使用しない。			
参考書	随時紹介する。			
その他の資料	毎時間印刷教材を配布する			

【評価方法】 ①レポート、②出席、③期末試験を総合して評価する。	【履修上の留意点】 患者・障害者およびその家族の生活記録、セルフヘルプグループ記録などを読み、自主的に事例研究してほしい。
--	---